

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
音楽基礎A 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
旋律、コード付けのみで作曲をすることを目標に、一年次で学習した理論をどのように使っていけば作曲に結びつくのかを理解させ、理論を習得する意味を実践を持って考えさせる。											
到達目標											
ミュージシャンとして仕事をするにあたって必要最低限の理論、音楽用語は身に付ける。オリジナルを歌いたい学生には作曲に必要な理論と感覚をうまく使えるようになることを目標にする。											
授業方法											
オンデマンド2回→対面授業を設け、分からないところをフォローするためにも質問、確認できるような時間を作る。細かくテストを行っていくことによって、最初に躓かないよう（特に音程、スケール）チェック体制と共に指導していく。ついてこれない学生には原因を見つけ、時間外の補講も行っていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
生徒が持つ個性を大切に、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか（シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか、等細かく）を密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	前期の復習を兼ねた総合テスト										
第2回	ダイアトニックコードの機能、ディグリー、コードネームを理解する 1										
第3回	ダイアトニックコードの機能、ディグリー、コードネームを理解する 2										
第4回	ダイアトニックコードのテスト										
第5回	マイナースケール 3種類										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
音楽基礎A 2	
第6回	マイナースケールのダイアトニックコードを理解する
第7回	ここまでの復習、総合テスト
第8回	コードネームを4和音で覚える
第9回	ダイアトニックコードを4和音で覚える
第10回	ここまでの復習、総合テスト
第11回	様々なコード、テンションコード
第12回	作曲に挑戦する
第13回	作曲に挑戦する
第14回	修了ライブに向けての仕上げ
第15回	自分の曲を発表する